

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	摂南大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	セツナンダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I・II、ビジネスインターンシップ I・II 等
	学部・研究科等名	理工学部、外国語学部、経営学部、法学部、経済学部
	担当教職員名・役職	石井 三恵 教授水野 武 講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	104
	受入企業等数	67
	受入企業等名	寝屋川市役所、株式会社関西マツダ、KCJ GROUP株式会社 他
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事.2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先企業・団体により異なるが、営業同行、工場見学、土木工事現場見学、イベントの企画・運営等を就業体験として行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している.6.当該インターンシップは、選択科目として実施している.7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している.8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次を対象に前期期間中に事前学修を行い、夏季休業期間中の10日間以上のインターンシップを組み合わせたキャリア形成科目「インターンシップ I・II/ビジネスインターンシップ I・II」を開講している。本科目では学生の職業観の形成と専門分野の理解の深化を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている.2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている.3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている.3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	期間中に問題が生じた場合、必要に応じて実習先と学生と大学側の三者面談を行う。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全15回の事前学修において、インターンシップの趣旨や目的の理解・目標設定(3回)、企業・業界研究(2回)、グループワーク(2回)、マナー・ビジネス実務教育(4回)、個人プレゼンテーション(2回)、インターンシップ中のトラブル対応(1回)、講義のまとめ(1回)を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	自らの就業体験を振り返ること・情報の共有を目的として、一人ずつプレゼンテーション、及びクラス代表者による報告会を実施している。・グループワークを行い、就業体験を通して、社会人の働く目的、仕事の喜びなどを感じることができた場面を中心に振り返る。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	期間中に問題が生じた場合、必要に応じて実習先と学生と大学側の三者面談を行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている.4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	報告書、報告プレゼンテーション、オリジナル振り返りシート。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	体験報告書の作成、受講者一人ずつによる報告プレゼンテーションの機会を設け、インターンシップ前後の自らの成長点や更に補わなければならない点などを省察させることで、今後の就職活動に向けた動機づけとなるような指導を行っている。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間

要素⑤	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先により異なるが、原則10日間以上、実習先の事情により5～7日間の場合もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的をご理解いただいた上で、129の団体様にご協力をいただいている。2017年度は学生とのマッチングができた団体は67団体である。本学の所定の様式に基づき、それぞれの受入先が学生の勤務態度、能力に関して数値評価してくださっている。また、期間中、企業からの連絡に応じて対応している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<p>摂南大学ホームページのインターンシップに係るページ：  <a href="http://www.setsunan.ac.jp/shushoku/internship/シラバス">http://www.setsunan.ac.jp/shushoku/internship/シラバス</a>：  <a href="https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true">https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true</a></p>
問い合わせ先	大学等名	摂南大学
	担当部署名	キャリア教育推進室
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	石井 三恵
	電話番号	072-839-9220
	メールアドレス	m-ishii@atf.setsunan.ac.jp